

2025 FISU World University Games

Report 5 (7/25)

7月25日(金)

いよいよFISU World University Gamesが開幕となりました。日本からは5種目に出漕し、そのうち男女のシングルスカルはHeat(予選)を勝ち上がると同日中にQuarterfinalがあるため、1日に2本漕ぐ可能性があります。風向きが変わりやすい天候の中、熱戦の火ぶたが切って落とされました。



参加国の国旗がはためく、会場となるデュイスブルグRegattabahn

M2- Heat2

レース序盤から、イギリス、イタリアが飛び出しチェコ、トルコ、日本が追う展開に。日本は500m地点でトップイギリスから6.42秒差の苦しい展開に。第2クォーターに入っても先行する国との差は広がる一方で1000mはトップイギリスから14.85秒差の5位で通過。そのまま巻き返すことはできず、5位でゴール。Final Cに進むことになった。

→ゴール前、先行する艇を必死に追うM2-クルー。左から B上戸選手(明治安田)、S青木選手(明治安田)。



タイムでQuarterfinal進出を決めたM1x菅原選手(関西電力)。

M1x Heat2

AINとオランダがトップ争いをしながらレースをリードし、カザフスタン、タイ、アメリカ、日本と続き、我慢の6位で500mを通過。ここからアメリカをかわしカザフスタン、タイとの3位争いに加わる。そのまま中々差が詰まらないままラストクォーター。日本も艇速を上げるが、先行するタイがカザフスタンをかわし3位に浮上する。日本も続きたいところであったがここでゴール。組では5位であったが、タイムでQuarterfinalにコマを進めた。

※AIN・・・Athlète Individuel Neutre = 中立な立場の個人資格の選手を指し、個人資格で参加した選手団の呼称。

W1x Heat 2

地元ドイツがレースをリードするがトルコも離れない。そこから少し離れて日本とアメリカ、さらに水が開きブルガリアでレースが進む。ドイツとトルコとの差はその後大きく開き、アメリカとの3位争いになるが、アメリカを追う形でラストクォーターへ。ラストクォーターに入ると日本が切り替えペースアップしアメリカをかわし3位に浮上。そのままゴールしタイムでQuarterfinal進出を決めた。



W1x井上選手(立教大学)



着順でSemifinal A/B 進出を決めたM2xクルー。左からS宮口選手(NTT東日本)、B中島選手(日本大学)。

M2x Heat 1

オランダが序盤から抜け出そうとするが、日本がそれについて行き、スペイン、フランス、ウクライナ、ハンガリーと続く。第2クォーター以降もスペインとフランスが追いかける中、オランダと日本が完全に抜け出し、ラストクォーターへ。スパートではフランスが猛烈な追い込みを見せ、1500mでは8.67秒あった日本との差をあっというま4.16秒差まで詰めるものの日本クルーは落ち着いて2位を守り着順でSemifinal A/B進出を決めた。

W2x Heat 1

チェコ、イギリス、イタリアが先行するが、日本はびたりと4位につけレースを運ぶ。その後イギリスとイタリアが抜け出し遅れ始めたチェコが射程圏内に入ってきて1000mを通過。

第3クォーターに入ると、日本がチェコをかわし3位に浮上。さらに2位を走るイギリスに迫ろうとするが、そのまま3位でゴール。着順では決められなかったが、タイムでSemifinal A/B 進出を決めた。



タイムでSemifinal A/B 進出を決めたW2xクルー。 左から S猪野選手(明治安田)、B岸本選手(NTT東日本)。



M1x菅原選手(関西電力)。

M1x Quarterfinal 2

AIN、オーストリア、チェコが抜けオランダ、日本、ハンガリーが落ち着いた入りを見せる。その後チェコをオランダがかわし3位に浮上。日本は6位につける。

日本は何とか浮上しようとするが、中々その機会は訪れず、そのまま6位でゴール。Semifinal A/Bに進むことは適わなかった。

W1x Quarterfinal 4

チェコ、ウズベキスタン、イタリアが先行し、日本は4番手で追う展開に。レースごとに風が変わる難しいコンディションの中、レース中盤に強い逆風に見舞われ艇速を伸ばせない。

何とか3位以内に入りたいところであったが、選考するクルーとの差は詰まらず4位でゴール。惜しくもSemifinal A/Bに進むことはできなかった。



W1x井上選手(立教大学)



コーチは会場で自転車を借りることができコースの伴走が可能となっております。
自転車を借用する際は、一旦会場に出てADカードを受付担当者に渡して借ります。
レース後会場に戻るにはADカードが必要なので必要なレース時のみ自転車を借りるようなシステムとなっております。

【Mix4xの棄権について】

今大会、WUG日本代表チームは、初めての試みとしてMix4xをダブルワークで出場予定でした。しかし、本大会が欧州開催であることなどから予想以上のエントリー数となり、かつ、新プログレッションシステムへの変更も伴い、男子ダブルスカル、男女シングルスカルで大会初日にHeat、Quarter Finalが予定されておりました。

従って、1日2000mを3本漕ぐことになる選手も出てくることが想定されたため、元々のメイン種目に集中するため、止む無くMix4xを棄権することと致しました。

7月26日(土)の出漕クルー



9:50(日本時間16:50)
M2x Semifinal A/B 2
宮口大誠(NTT東日本)、中島広大
(日本大学)

ポーランド
日本
オランダ
モルドバ
ノルウェー
オーストリア

9:58(日本時間16:58)
W2x Semifinal A/B 1
猪野日向子(明治安田)、岸本唯佳
(NTT東日本)

アメリカ
カザフスタン
オランダ
イギリス
日本
チェコ



13:32(日本時間20:32)
M1x Final C
菅原陸翔(関西電力)



カナダ
ウズベキスタン
ハンガリー
チェコ
日本
スロバキア

ご声援よろしくお願いいいたします